

近畿地方交通審議会  
近畿船員部会議事録

第201回

令和7年6月26日

日 時 令和 7 年 6 月 2 6 日（木） 1 6 時 0 0 分から

場 所 近畿運輸局 会議室（船員部会室）

出席者 公 益 委 員 横見委員、定岡委員、三輪委員、  
安達委員

労働者委員 浦委員、佐藤委員、小林委員

使用者委員 磯合委員（欠）、土屋委員、開委員

運 輸 局 寺地海事振興部長、三浦海事振興部次長、  
大樽船員労政課長、矢野船員労政課専門官、  
濱田船員労働環境・海技資格課長

議題 1 . 管内の雇用等の状況について

議題 2 . その他

## 議 事 概 要

横見部会長：

それでは、ただ今から第201回近畿船員部会を開催いたします。

あらかじめお配りしております「第200回船員部会」の議事録につきまして、ご承認をお願いしたいと思います。ご異議ございませんか。

(異議なし)

横見部会長：

無いようですので、ご承認をいただいたものとして取り扱わせていただきます。

次に、議題1の「管内の雇用等の状況」について、運輸局からご説明をお願いいたします。

大樽船員労政課長：

それでは「令和7年5月分管内雇用状況」につきまして、ご説明させていただきます。

### 1. 職業紹介状況

#### ①求人関係

新規求人数は、87人（前月比＋22人、33.8％の増、前年同月比：＋9人、11.5％の増）となっています。

月間有効求人数は、185人（前月比＋31人、20.1％の増、前年同月比：＋18人、10.8％の増）となっています。

#### ②求職関係

新規求職者数は、11人（前月比増減なし、前年同月比：－1人、8.3％の減）となっています。

月間有効求職者数は40人（前月比増減なし、前年同月比＋3人、8.1％の増）となっています。

### ③成立状況

当月の成立数は、5人（前月比：－4人、44.4％の減、前年同月比：＋4人、400％の増）となっています。

### ④職員・部員別成立者内訳

職種別の内訳は、甲板部職員2人、機関部職員2人、甲板部部員1人、機関部部員0人、事務部部員0人となっています。

## 2. 新規求人・求職者の取扱実績

### ①職種別内訳

新規求人の職種別内訳は、職員68人（甲板部48人、機関部20人、無線部0人、事務部0人）、部員19人（甲板部10人、機関部3人、無線部0人、事務部6人）となっています。

新規求職の職種別内訳は、職員5人（甲板部4人、機関部1人、無線部0人、事務部0人）、部員6人（甲板部4人、機関部0人、無線部0人、事務部2人）となっています。

### ②新規求職者の退職理由

内訳は、船舶所有者の都合が1人、定年退職0人、雇用期間満了0人、本人の申し出4人、自己の健康0人、倒産0人、就労中0人、不明6人となっています。

### ③新規求職者の年齢別

30歳未満4人、30歳代2人、40歳代2人、50歳代1人、60歳以上2人となっています。50歳以上は3人で占める割合は27.3％、30歳未満の占める割合は36.4％です。

## 3. 失業等給付金支給状況

当月末の受給資格者数は15人で、基本手当の支払実人数は3人、給付件数は5件となっています。給付金額は290,463円です。前月は1人、給付件数は1件、給付金額は136,480円でした。

それから、高年齢求職者給付金が0件、0円、再就職手当が3件、1,472,768円、就業促進定着手当が0件、0円。よって、当月支給額計は、1,763,231円となります。

#### 4. 月間有効求人倍率の推移

5月の近畿船員は4.63倍で、前月比+0.78ポイント、前年同月比、+0.12ポイントとなっています。

#### 5. 近畿運輸局、月間有効求人・求職状況

①月間有効求人は185人で、このうち、新規求人者数は87人となっています。

当局の紹介による求人側の成立は2人、他局成立は1名でございました。求人の取り消しは48人で、理由の内訳は有効期限切れ46人、自己応募・縁故により採用0人、会社都合により取り下げ2人、その他は0人となっています。

②月間有効求職者は40人で、前月との差は±0人でした。

当局の紹介による求職側の成立は1人、他局成立は1人でした。求職の取り消しは15人で、理由の内訳は期限切れ13人、自己応募・縁故により採用1人、自己都合により取り下げ1人、その他0人となっています。

#### 6. 全国運輸局別の有効求人、有効求職、成立数、有効求人倍率

①4月の全国の月間有効求人数は、3,075人で、前月比53人減の98.3%、前年同月比1人減の100.0%となっています。

②4月の全国の月間有効求職数は、686人で、前月比24人増の103.6%、前年同月比30人減の95.8%となっています。

③4月の全国の成立数は、44人で、前月比5人減の89.8%、前年同月比7人減の86.3%となっています。

④4月の全国船員の有効求人倍率は季節調整値により4.89倍となっています。全国陸上は季節調整値により1.26倍となっています。

以上が管内の雇用等の状況でございます。

横見部会長：

ありがとうございます。

資料１、２、３についてご質問等ございますでしょうか。

佐藤委員：

資料２の６ページから７ページ、３６００トンのタンカーが結構な人数の募集をかけていますが、同じ会社が一度に求人をだしているのでしょうか。

大樽船員労政課長：

同じ会社です。

佐藤委員：

一隻に対して船長３人、機関長３人といった人数の求人を出しているのでしょうか。

大樽船員労政課長：

詳細は確認いたします。わかるようでしたらご報告いたします。

横見部会長：

はい、ありがとうございます。

ほか、いかがでしょうか。

無いようですので、それでは、次に議題２の「その他」に入ります。

運輸局の方から説明をお願いします。

三浦海事振興部次長：

資料４を説明申し上げます。

まず、令和７年４月分の内航海運の輸送動向調査の概要ですが、貨物船と油送船を合計した輸送量は前年同月比 ９７％となっております。

貨物船は 紙・パルプ、自動車が増加

原料（石灰石・スラグ）、燃料（石炭、コークス）、雑貨、セメントは減少

鉄鋼は、前年同月並み

油送船は ケミカル、高圧液化が増加

黒油、白油、高温液体、耐腐食は減少のようです。

4月の貨物船の輸送量は、前年同月比98%、前月比で90%となっています。

鉄鋼は100%、前月まで繰り越し貨物が見られていたが、今月は前年同月並みの輸送となり、落ち着きが見られたようです。

原料は95%、石灰石はセメント工場の休転に伴い、入渠した石灰石専用船が見られたほか、石灰石、スラグ、非金属鉱の減少のため、原料全体を押し下げる結果となったようです。

燃料は81%、石炭火力発電所向けは一部の発電所でトラブルが発生したため低調な送り込みが見られたようです。

紙・パルプは102%、紙製品に関して、四国地方の製紙会社からの出荷が無くなった船社が見られたようです。

雑貨は99%、飲料、医薬品の輸送が堅調に推移したほか、塩の増加も見られたようです。

自動車は106%、前年同月の認証不正問題による影響で減少していたための反動増、前月に起きた自動車部品工場の爆発事故により、製品出荷の遅れから繰り越された貨物が見られたようです。

セメントは98%、引き続き、厳しい需要の状況となっているようで、セメント出荷の伸び悩む状況が続いているようです。

続きまして、油送船の輸送量ですが、前年同月比96%で、前月比95%となっています。

黒油（こくゆ）は95%、時化による輸送障害が多く、また、一部陸上施設の工事、陸上係員の人手不足による荷役作業の停滞が見られたようです。

白油（はくゆ）は92%、輸送需要が低いため船の待機が見られたほか、一部で船のトラブルによる長期停船もあり減少しているようです。

それでは5ページ以降、貨物ごとの状況です。4月の対前年比欄と、右側の対前月の欄をご覧ください。

|             |        |    |     |       |
|-------------|--------|----|-----|-------|
| 鉄鋼の前年比は、    | 99.5%  | で、 | 前月比 | 93.3% |
| 原料の前年比は、    | 95.1%  | で、 | 前月比 | 95.0% |
| 燃料の前年比は、    | 80.5%  | で、 | 前月比 | 79.9% |
| 紙・パルプの前年比は、 | 101.5% | で、 | 前月比 | 54.1% |
| 雑貨の前年比は、    | 98.9%  | で、 | 前月比 | 98.3% |
| 自動車の前年比は、   | 105.9% | で、 | 前月比 | 79.9% |
| セメントの前年比は、  | 98.5%  | で、 | 前月比 | 95.9% |

貨物船全体の輸送量は、1,581万8千トンで  
前年比が、98.1%で、前月比 89.6%となっています。

|               |        |    |     |        |
|---------------|--------|----|-----|--------|
| 黒油（こくゆ）の前年比は、 | 95.4%  | で、 | 前月比 | 97.0%  |
| 白油（はくゆ）の前年比は、 | 91.9%  | で、 | 前月比 | 92.8%  |
| ケミカルの前年比は、    | 124.8% | で、 | 前月比 | 110.0% |

一般タンカーの輸送量は、717万7千トンで  
前年比が、95.3%、前月比 95.3%となっています。

続きまして、

|            |        |    |     |       |
|------------|--------|----|-----|-------|
| 高圧液化の前年比は、 | 113.6% | で、 | 前月比 | 90.9% |
| 高温液体の前年比は、 | 92.9%  | で、 | 前月比 | 96.3% |
| 耐腐食の前年比は、  | 98.0%  | で、 | 前月比 | 92.6% |

特タン船の輸送量は、104万トンで  
前年比が、105.4%で、前月比 92.0%となっており、  
全てのタンカーの合計は、821万7千トンで  
前年比が、96.5%で、前月比 94.9%となっています。

次に資料5、令和7年4月における長距離フェリーの輸送実績でございます。

4月の欄と、右のほうの対前月、対前年同月比のところをご覧ください。

まずは「トラック」ですが、

北海道方面では、１０，８０６台となっており、前月比が１００．４％、前年比１０２．３％

北九州方面では、３１，６５０台となっており、前月比が９９．９％、前年比９１．８％

中九州方面では、１１，９９２台となっており、前月比が１０７．７％、前年比１０８．４％

南九州方面では、１３，３３０台となっており、前月比が１０２．０％、前年比９８．７％

次のページの「旅客」では、

北海道方面では、

１０，０４２人となっており、前月比が９０．１％、前年比１００．７％

北九州方面では、

７７，８５０人となっており、前月比が１２４．５％、前年比９７．３％

中九州方面では、

３８，２１８人となっており、前月比が１２９．１％、前年比１１４．０％

南九州方面では、

２７，７１２人となっており、前月比が１３９．１％、前年比１０６．１％となっています。

最後に、次のページの「乗用車」では、

北海道方面では、

４，３８７台となっており、前月比が９１．８％、前年比１０２．８％

北九州方面では、

２６，７３８台となっており、前月比が１０６．６％、前年比１０３．８％

中九州方面では、

５，８４３台となっており、前月比が１１２．６％、前年比１１０．９％

南九州方面では、

8, 218台となっており、前月比が120.2%、前年比104.2%なっています。

ここ数年の輸送量を見ると、ほとんどの航路で、コロナ前の平成30年の輸送量と同程度に落ち着いてきているか増加してきているよう感じられます。

【資料6】中・長距離フェリー等に係る積載率動向について報告

【資料7】船員教育機関卒業生の求人・就職状況について報告

また、前回の船員部会において、横見部会長から一般大学卒の船員への就業者数について確認があり、こちらから把握していない旨、お伝えしたところですが、「海技人材の確保のあり方に関する検討会中間とりまとめ（資料編）」において、「外航船員数の推移」「内航船員数の推移」が出ていました。

その中で、一般大学卒（新3級）の就業者数がありましたので、資料7（参考）として、別添を添付させていただきました。

下段の外航の日本人船員数の推移の令和5年のところをみていただきたいのですが、真ん中あたりの赤色の「29」、これが海技大学校の一般大学卒（新3級）の人数になります。

2005年頃から海技大学校に海技教育を受けていない一般大学生（外航船員への意欲を持つ学生）が船員になる道ができて以降、就業者数としては、令和5年までに343人はいるかと思います。なお、現在、船員として乗り組んでいるかどうか不明です。

私からの説明・報告は以上です。

横見部会長：

ありがとうございました。

それでは、これまでの説明についてご質問等ございますでしょうか。

横見部会長：

外航船員については、一般大学卒の船員が、思った以上にいるという印象ですが、次のページの内航については、一般大学卒がいないということでしょうか。それとも単に記録されていないということでしょうか？

三浦海事振興部次長：

一般大卒の新3級自体は外航船員がメインですので、内航船員に採用するという想定がされていないのかもしれませんが。

横見部会長：

ありがとうございます。

他いかがでしょうか。

三輪委員：

資料4の内航海運輸送動向調査結果の1ページ目、貨物船の概要のところの数字が下がった理由にあるセメント工場の休転や発電所のトラブルなどは突如起きて予測できないものと思っていますが、製紙会社の出荷がなくなったりとか港湾ストというものは予期できずに突然起きるものでしょうか。

三浦海事振興部次長：

港湾ストについては、全国的な取組で事前予告はあったかと思います。製紙会社については、紙の出荷量が減ることは事前に事業者への調整をしていたと思います。

三輪委員：

ありがとうございます。

横見部会長：

ほか、いかがでしょうか。よろしいでしょうか。

それでは次に、事務局より報告事項がございますので、お願いします。

- ・令和7年度船員安全・労働環境取組大賞募集（応募期限延長）について
- ・令和7年度船員労働災害防止優良事業者募集について

〔 濱田船員労働環境・海技資格課長（報告） 〕

横見部会長：

ありがとうございました。ただいまの件についてご質問はございますでしょうか。

横見部会長：

それでは次に、船員政策や船員労働全般に関わる様々な問題につきまして、ご意見や情報などございましたらご発言をお願いいたします。

では、まず労働者委員のほうから、いかがでしょうか。

よろしいでしょうか。

横見部会長：

では続いて、使用者委員のほうから何かございますでしょうか。

横見部会長：

では続いて、公益委員のほうから何かございますでしょうか。

横見部会長：

事務局のほうからいかがでしょうか。よろしいですか？

それでは他になにかございますでしょうか。

佐藤委員：

前回の船員部会で提起させていただいた保安対策協議会について、進展はありましたでしょうか。

大樽船員労政課長：

舞鶴庁舎に聞いてみたのですが、わかりませんでした。おそらく主催は整備局かと思しますので、私の方から直接対面での会議を要望されていることを伝えさせていただきたいと思しますので、またご報告させていただきます。

佐藤委員：

管内・各港の保安対策協議会の開催状況を集約することはできないのでしょうか。

大樽船員労政課長：

同じ国土交通省でも地方局となると組織が違いますので、強制はできないということだけご承知願いますが、状況は確認させていただきます。

横見部会長：

ありがとうございました。

それでは本日の部会は終了いたします。

次回は7月24日（木）16時30分からとなっておりますので、皆様よろしく願いいたします。

（配付資料）

資料1．令和7年5月分 近畿運輸局管内船員職業紹介実績表

資料2．令和7年5月分 月間有効求人・求職状況（近畿管内）

資料3．令和7年4月分 局別月間有効求人数（商漁船・職部員別）等

資料4．内航輸送実績状況（令和7年4月分まで）

資料5．長距離フェリー輸送実績の推移（令和7年4月まで）

資料6．中・長距離フェリー等に係る積載率動向

資料7．船員教育機関卒業生の求人・就職状況

参考資料

・令和7年度船員安全・労働環境取組大賞募集（応募期限延長）

・令和7年度船員労働災害防止優良事業者募集